

# 定期点検チェックリスト【一般管理型】

路線名：

橋梁名：

点検実施日：平成 年 月 日

## ・STEP 1 ～ 全景

- 起終点を確認する。不明な場合は、川下方向に向けて左が起点とする。
- 全景写真【起点→終点】・【終点→起点】・【上流→下流】・【下流→上流】
- 各種写真【橋歴板・橋名板・塗装記録表】

## ・STEP 2 ～ 路面を徒歩巡回し、以下の項目を確認する〔上部工〕

- 「定期点検調査帳票」に、写真・状態・図面・診断結果を記入する
- 径間ごとに、上部工 No は起点を背にして左から、下部 No は起点側から
- 写真はクローズアップだけでは場所が不明なので注意
- 橋梁上部、損傷写真の撮り方は、径間ごとに起点側斜め、左側全景、終点側斜め、右側全景
- ⑩遊間の異常 : 伸縮装置・桁と桁・桁と橋台の遊間確認
- ⑪路面の凹凸 : 路面の凹凸の有無
- ⑫舗装の異常 : ひび割れ・窪み
- ⑮変色・劣化 : コンクリート、ゴム・プラスチックなど、鋼材部における塗装やメッキの変色は対象としない
- ⑯漏水・滞水 : 伸縮装置・排水装置などからの漏水、支承・桁内部・梁天端の帯水
- ⑰変形・欠損 : 鋼部材の桁、コンクリート部材の桁、高欄、防護柵
- ⑱土砂詰まり : 排水桝、支承周辺

## ・STEP 3 ～ 橋梁下面に移動し、以下の項目を確認する〔下部工〕

- ①腐食 : 鋼部材における腐食状況
- ②亀裂 : 鋼部材における亀裂の有無
- ③ゆるみ・脱落 : 鋼部材におけるボルトのゆるみ、脱落の有無
- ④破断 : 鋼部材における破断の有無
- ⑤防食機能の劣化 : 鋼部材における防食皮膜（塗装・メッキ金属溶射）の変色、剥離、点錆状況
- ⑥ひびわれ : コンクリート部材におけるひびわれ状況（床版部のひびわれは対象としない）
- ⑦うき・剥離・鉄筋露出 : コンクリート部材における剥離・鉄筋露出の発生状況
- ⑧漏水・遊離石灰 : コンクリート部材における漏水・遊離石灰の発生状況
- ⑨床版ひびわれ : コンクリート床版ひびわれ発生状況
- ⑬支承の機能障害 : 支承部における機能障害の有無
- ⑭定着部の異常 : PC鋼材定着部におけるコンクリートの損傷の有無
- ⑲沈下・移動・傾斜 : 下部工、支承
- ⑳洗掘 : 下部工基礎における洗掘の有無

⑩遊間の異常

区分	評価の目安	
a	損傷なし	
b	-	
c	左右の遊間が極端に異なる。又は橋間が橋軸直角方向にずれているなどの異常がある。	
d	遊間が異常に広く、伸縮継手の櫛の歯が完全に離れている。又は遊間がほとんど取れていない。桁とバラベット、桁同士が接触している。(接触した痕跡がある)	
e	-	

⑪路面の凹凸

区分	評価の目安	
a	損傷なし	
b	橋軸方向の凹凸が10~20mmである。 橋軸直角方向の凹凸が20~30mmである。	
c	-	
d	橋軸方向の凹凸が20mm以上ある。 橋軸直角方向の凹凸が30mm以上ある。	
e	-	

⑫舗装の異常

区分	評価の目安	
a	損傷なし	
b	幅5mm未満のひびわれがある。	
c	深さ30~50mmかつ、直径20cm未満の窪みがある。	
d	幅5mm以上のひびわれがある。 深さ50mm以上の窪みがある。又は直径20cm以上の窪みがある。	
e	-	

⑬変色・劣化

区分	評価の目安	範囲
a	損傷なし	-
b	部材の変色・劣化は局部的である。 (コンクリート、ゴム、プラスチックなどの材料を対象)	局部的
c	-	-
d	部材全体に変色・劣化が及んでいる。 (コンクリート、ゴム、プラスチックなどの材料を対象)	全体的
e	-	-

⑭漏水・滞水

区分	評価の目安	部材
a	損傷なし	-
b	漏水・滞水がある。	排水装置のみ 舗装のみ
c	-	-
d	漏水・滞水がある。	上記以外
e	-	-

⑮変形・欠損

区分	評価の目安	
a	損傷なし	
b	桁、高欄、防護柵が車の衝突などのために変形・欠損している。	
c	-	
d	桁、高欄、防護柵が車の衝突などのために著しく変形・欠損している。	
e	-	

⑯土砂詰り

区分	評価の目安	
a	損傷なし	
b	-	
c	-	
d	排水柵、支承周辺、路肩に土砂が堆積している。	
e	-	

①腐食

区分	評価の目安			
	錆の有無	板圧減少、鋼材表面の著しい膨張	範囲	
a	なし	-	-	
b	あり	なし	局部的	
c		なし	広範囲	
d		あり	局部的	
e		あり	広範囲	
主部材(特定部位)に明らかな断面欠損がある。				

②亀裂

区分	評価の目安	
a	損傷なし	
b	-	
c	塗膜割れ、亀裂が生じているが、進展しても直ちに主部材に至る可能性が少ないもの。	
d	明らかな亀裂が主部材(特定部位以外)に発生しており、進展すると、構造物の機能に支障が生じる可能性がある。	
e	明らかな亀裂が主部材(特定部位)に発生している。	

③ゆるみ、脱落

区分	評価の目安	
a	損傷なし	
b	-	
c	ボルトにゆるみがあり、その数が少ない(1添接部で5%未満のゆるみがある) 普通ボルトにゆるみの疑いがある。 ボルトが脱落しており、その数が少ない。(1添接部で1本の脱落がある)	
d	ボルトにゆるみがあり、その数が多い(1添接部で5%以上、又は1群当り20本未満で1本以上のゆるみがある) アンカーボルトにゆるみがある 普通ボルトのゆるみがあり、部材脱落の危険がある。 ボルトが脱落しており、その数が多い(1添接部で2本以上の脱落がある) 普通ボルトの脱落が2本以上ある。	
e	-	

④破断

区分	評価の目安	
a	損傷なし。	
b	-	
c	-	
d	耐荷力に影響が少ない部材に破断が生じている。	
e	主部材や応力集中部材など耐荷力に影響の大きい部材に破断が生じている。	

⑤防食機能の劣化

区分	評価の目安	
	劣化の程度	錆の広がり
a	損傷なし。	-
b	塗装に点錆が発生している。 塗装の上塗りに変色やうきが発生している。 防食塗膜が剥離し、下塗りが露出している。	局部的
c	塗装の上塗りに変色やうきが発生している。	全体的
d	塗装に点錆が発生している。 防食塗膜が剥離し、下塗りが露出している。	全体的
e	-	

⑥ひびわれ【主部材】

区分	評価の目安			
	ひびわれ発生箇所	ひびわれ幅	ひびわれ間隔	
a	影響小	小	小	-
			大	
	影響大		大	
b	影響小	中	小	
			大	
c	影響小	大	小	
			影響大	
	影響大		大	
d	影響小	大	大	
			影響大	
e	落橋につながる部位で顕著なひびわれが発生している。			

⑥ひびわれ【副部材】

区分	評価の目安			
	ひびわれ発生箇所	ひびわれ幅	ひびわれ間隔	
a	影響小	小	小	-
			大	
	影響大		大	
b	影響小	中	小	
			大	
	影響大		大	
c	影響小	大	小	
			影響大	
	影響大		大	
d	影響小	大	大	
			影響大	
e	-			

⑦うき・剥離・鉄筋露出

区分	評価の目安		
	状態	面積	
a	損傷なし		
b	剥離のみ	発生面積:小 上部工:0.1㎡未満 下部工:1.0㎡未満	
		鉄筋露出有り	
c	剥離のみ	発生面積:大 上部工:0.1㎡以上 下部工:1.0㎡以上	
		鉄筋露出有り	
e	-		

⑧漏水・遊離石灰

区分	評価の目安		
	状態	面積	
a	損傷なし		
b	漏水影響はあるが、遊離石灰はほとんど見られない。	発生面積:小 上部工:0.1㎡未満 下部工:1.0㎡未満	
		発生面積:大 上部工:0.1㎡以上 下部工:1.0㎡以上	
c	遊離石灰があるが、錆汁はほとんど見られない。	発生面積:小 上部工:0.1㎡未満 下部工:1.0㎡未満	
		発生面積:大 上部工:0.1㎡以上 下部工:1.0㎡以上	
d	遊離石灰に、錆、泥の混入が見られる。		
e	-		

⑨床板ひびわれ

区分	評価の目安			
	ひびわれ方向	ひびわれ幅	ひびわれ間隔	
a	-			
b	影響小	小	小	
			大	
c	影響大	小	小	
			大	
d	影響小	中	小	
			大	
			大	
	影響大	大	小	
			大	
			大	
e	顕著な角落ちを伴う二方向のひびわれなど、抜け落ちの危険性が高い場合。			

⑬支承の機能障害

区分	評価の目安	
a	損傷なし	
b	-	
c	支承の機能が低下している。	
	支承の機能が著しく低下している。	
d	支承の機能に障害が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	
	支承の機能が著しく低下している。	
e	-	

⑭定着部の異常

区分	評価の目安	
a	損傷なし	
b	-	
c	変状が見られるが小さい。PC鋼材の定着部コンクリートに損傷が認められる。または、ケーブルの定着に損傷が認められる。	
	大きな変状が見られる。PC鋼材の定着部コンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着に著しい損傷がある。	
d	大きな変状が見られる。PC鋼材の定着部コンクリートに著しい損傷がある。または、ケーブルの定着に著しい損傷がある。	
e	-	

⑲沈下・移動・傾斜

区分	評価の目安		
	状態	程度	
a	損傷なし	-	
b	-	-	
c	支承沈下の疑いがある。基礎の沈下がある。	単純桁方式で 支点沈下:25mm未満 連続桁形式で 支点沈下:L/2000未満	
	支承が移動している疑いがある。基礎の移動がある。	側方流動などのため下部工が移動している。	
d	支承が傾斜している疑いがある。基礎の傾斜がある。	側方流動などのため下部工が傾斜している。	
	支承が沈下している。基礎の沈下が著しい。	単純桁方式で 支点沈下:25mm以上 連続桁形式で 支点沈下:L/2000以上	
e	支承が異常に移動している。基礎の移動が著しい。	側方流動などのため下部工が著しく移動している。	
	支承が傾斜している。基礎の傾斜が著しい。	側方流動などのため下部工が著しく傾斜している。	

⑳洗掘

区分	評価の目安		
	基礎形式	状態	
a	-	損傷なし	
b	-	-	
c	直接基礎 杭基礎 ケーソン基礎	洗掘がある。	
		洗掘が著しい。フーチング又は頂版上面が露出。	
d	-	洗掘が著しい。フーチング又は頂版上面が露出。	
e	-	図によるフーチング下面が露出。	

## 一般管理型橋梁 定期点検調査帳票

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日

橋梁名			路線名			管轄		
所在地	自		距離標	自			km	
	至			至			km	

供用開始日		活荷重・等級		適用示方書		
橋長		m	総径間数		径間	
上部構造形式			下部構造形式			
交通条件	調査年		大型車混入率			
	交通量		荷重制限			
幅員	左側		中央帯		右側	
	全幅員		地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	
	有効幅員					
海岸からの距離		m	緊急輸送路の指定			
路下条件			施業計画		有・無	

総合検査結果	健全度 (橋単位)		(所見等)		
	部材単位の健全度(各部材の最悪値を記入)				
	部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
	上部構造	主桁			
		横桁			
		床版			
	下部構造				
	支承部				
	その他				

全体図・一般図				
個別施設整理番号		橋梁名		路線名
全体図				
一般図				

現地状況写真		個別施設整理番号	橋梁名	路線名
	写真番号			
	径間番号			
	写真説明			
	撮影年月日			
	メモ			
	写真番号			
	径間番号			
	写真説明			
	撮影年月日			
	メモ			
	写真番号			
	径間番号			
	写真説明			
	撮影年月日			
	メモ			

部材番号図		橋梁名	路線名
個別施設整理番号			

損傷図		橋梁名	路線名
個別施設整理番号			
<p>損傷図. 1</p>			
<p>損傷図. 2</p>			

損傷写真台帳		個別施設整理番号	橋梁名	路線名
	写真番号			
	径間番号			
	部材名称			
	部材番号			
	損傷の種類			
	評価区分			
	撮影年月日			
	メモ			
	写真番号			
	径間番号			
	部材名称			
	部材番号			
	損傷の種類			
	評価区分			
	撮影年月日			
	メモ			
	写真番号			
	径間番号			
	部材名称			
	部材番号			
	損傷の種類			
	評価区分			
	撮影年月日			
	メモ			

個別施設整理番号												橋梁名		橋種		鋼橋										
径間番号												路線名		点検日												
部位・部材		鋼部材の損傷				コンクリート部材の損傷				その他		共通														
部材	部材番号・部位	腐食	亀裂	ゆるみ・脱落	破断	防食機能の劣化	ひびわれ	うき・剥離・鉄筋露出	漏水・遊離石灰	床版ひびわれ	遊間の異常	路面の凹凸	舗装の異常	支承の機能障害	定着部の異常	変色・劣化	漏水・滞水	変形・欠損	土砂詰まり	沈下・移動・傾斜	洗掘	健全度（部材単位）	対策区分の判定	備考		
主桁	01																									
	02																									
	:																									
縦桁	01																									
	02																									
	:																									
横桁	01																									
	02																									
	:																									
対傾構	01																									
	:																									
横構	01																									
	02																									
	:																									
床版	01																									
	02																									
	:																									
橋台	01	胸壁																								
		堅壁																								
		基礎																								
橋脚	01	胸壁																								
		堅壁																								
		基礎																								
支承	01	梁																								
		柱																								
		基礎																								
		101																								
		102																								
路面	01	防護柵																								
		防護柵																								
		地覆																								
		地覆																								
		伸縮装置																								
		伸縮装置																								
		舗装																								
排水	01																									
		02																								
所見																										

注:「部材・部位」欄は、必要に応じて増やして使用する。

個別施設整理番号												橋梁名												橋種		RC床版橋
径間番号												路線名												点検日		
部位・部材		鋼部材の損傷					コンクリート部材の損傷					共通														
部材		腐食	亀裂	ゆるみ・脱落	破断	防食機能の劣化	ひびわれ	うき・剥離・鉄筋露出	漏水・遊離石灰	床版ひびわれ	遊間の異常	路面の凹凸	舗装の異常	支承の機能障害	定着部の異常	変色・劣化	漏水・滞水	変形・欠損	土砂詰まり	沈下・移動・傾斜	洗掘	対策区分の判定	健全度(部材単位)	備考		
床版		01																								
橋台	01	胸壁																								
		堅壁																								
		基礎																								
橋脚	01	胸壁																								
		堅壁																								
		基礎																								
支承		101																								
		102																								
路面	防護柵	01																								
	防護柵	02																								
	地覆	01																								
	地覆	02																								
	伸縮装置	01																								
	伸縮装置	02																								
舗装		01																								
排水		01																								
		02																								
所見																										

注:「部材・部位」欄は、必要に応じて増やして使用する。

個別施設整理番号												橋梁名		橋種		RCT桁橋										
径間番号												路線名		点検日												
部位・部材		鋼部材の損傷				コンクリート部材の損傷				共通																
部材	部材番号・部位	腐食	亀裂	ゆるみ・脱落	破断	防食機能の劣化	ひびわれ	うき・剥離・鉄筋露出	漏水・遊離石灰	床版ひびわれ	遊間の異常	路面の凹凸	舗装の異常	支承の機能障害	定着部の異常	変色・劣化	漏水・滞水	変形・欠損	土砂詰まり	沈下・移動・傾斜	洗掘	健全度（部材単位）	対策区分の判定	備考		
主桁	01																									
	02																									
	03																									
	:																									
床版	01																									
	02																									
	:																									
橋台	01	胸壁																								
		堅壁																								
	基礎																									
	02	胸壁																								
堅壁																										
	基礎																									
橋脚	01	梁																								
		柱																								
		基礎																								
支承	101																									
	102																									
	:																									
	201																									
	202																									
	:																									
路面	防護柵	01																								
	防護柵	02																								
	地覆	01																								
	地覆	02																								
	伸縮装置	01																								
	伸縮装置	02																								
舗装	舗装	01																								
	排水	02																								
所見																										

注:「部材・部位」欄は、必要に応じて増やして使用する。



